

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 03 月 28 日作成)

委員会名	高強度コンクリート研究小委員会	主 査 名：山崎 庸行
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	「高強度コンクリートの調査・製造・施工指針」の作成を行う。 2003 年度：「高強度コンクリートの技術の現状」の見直し、改正点の洗い出し、および指針作成の課題の抽出。 2004 年度：指針の本文・解説文(案)の作成・出版、講習会実施。 2005 年度：「高強度コンクリートの技術の現状」の見直し、改定(案)作成。	
委員構成 (委員名(所属))	山崎庸行(清水建設)、一瀬賢一(大林組)、西田朗(清水建設)、梶田佳寛(宇都宮大学)、梅本宗宏(戸田建設)、太田達見(清水建設)、大野義照(大阪大学)、古賀康男(宇部三菱セメント研究所)、小室努(大成建設)、清水昭之(東京理科大学)、志村明春(建材試験センター中央試験所)、副田康英(関東宇部コンクリート工業)、玉井孝幸(工学院大学)、並木哲(大成建設)、松尾茂美(エヌ・エム・ビー)、三井健郎(竹中工務店)、依田和久(鹿島建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	高強度コンクリート施工指針(案)・同解説の本文および解説文を執筆し、講習会を実施した。 (開催日・参加人数：4/19・12名、5/24・11名、6/23・12名、7/9・9名、8/24・14名、9/24・13名、10/8・10名、10/23・13名、11/4・12名、11/30・12名、12/17・10名、1/14・8名、1/26・6名)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 設計基準強度 36N/mm ² を超え 120 N/mm ² 以下の高強度コンクリートおよび降伏点が 490 N/mm ² 以上の高強度鉄筋を対象とした「高強度コンクリート施工指針(案)・同解説」を発刊し、支部共通事業として全国 9 地域(東京、仙台、札幌、名古屋、金沢、大阪、福岡、広島、高松)で講習会を行った。講習会参加人数は約 1,100 名である。 委員会 HP アドレス： なし
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 活動計画に対して、計画通り目標を達成した。
その他評価すべき事項	非常にハードなスケジュールであったが、委員の精力的な活動・協力により施工指針制定の強い要望に応えることができた。